

産業建設常任委員会会議録

1 開会日時 令和7年9月18日（木）午前10時0分

2 閉会日時 令和7年9月18日（木）午前11時15分

3 会議場所 委員会室

4 出席委員

1 番 横山 裕太君 2 番 行本 大輔君 8 番 佐藤 武君

11 番 保田 守君 15 番 金谷 文則君 18 番 佐藤 武文君

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長 前田 正之君 副 市 長 是松 誠君

産業振興部長 大窄 暢毅君 建設事業部長 桐谷 文昭君

総合政策部参与兼 赤坂支所長 小坂 憲広君 総合政策部参与兼 熊山支所長 稲生真由美君

総合政策部参与兼 吉井支所長 中務 浩行君 建設事業部参与兼 総合政策部参与 岡本 和典君

建設事業部参与兼 建設課長 福圓 章浩君 農 林 課 長 岡田 浩司君

商工観光課長 小西 憲裕君 上下水道課長 谷 宣道君

地域整備推進室長 森本 祐司君 農 林 課 参 事 服部 保典君

赤坂支所 産業建設課長 難波 明則君 熊山支所 産業建設課長 砂子 武久君

吉井支所 産業建設課長 松下 和宏君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 原田 光治君 副 参 事 青木 智彦君

8 審査又は調査事件について

1) 議第65号 赤磐市手数料条例の一部を改正する条例

2) 議第70号 赤磐市水道条例の一部を改正する条例

3) その他

・令和7年度事業の補正について

・その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

会議の時間短縮に心がけたいと思いますので、執行部の説明及び委員の質疑につきましては、簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、報道関係者の委員会室内での撮影及び電子機器の使用を許可しておりますので、御報告いたします。

初めに、前田市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田市長。

○市長（前田正之君） 本日は、大変お忙しい中、産業建設常任委員会をお開きいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、条例案件2件を御審査いただくこととなっております。どうか慎重に審査をいただき、適正な御決定をいただきますようお願い申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託されました案件は、議第65号赤磐市手数料条例の一部を改正する条例及び議第70号赤磐市水道条例の一部を改正する条例の2件であります。

それでは、議案の審査に入ります。

まず、議第65号赤磐市手数料条例の一部を改正する条例を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がございましたらお願いいたします。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から補足説明をさせていただきます。

説明は議案書と新旧対照表でさせていただきますので、御準備をお願いいたします。

まず、議第65号赤磐市手数料条例の一部を改正する条例につきまして、議案書は129ページ、130ページ、新旧対照表は13ページ、14ページをお願いいたします。

この条例改正につきましては、令和7年4月1日に岡山県屋外広告物条例が改正され、手数料が変更されたことに伴い、赤磐市手数料条例の一部を、県条例に合わせるよう、新旧対照表のとおり手数料を改正するものでございます。

以上で建設課の補足説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部からの補足説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 県条例に準じて赤磐市の条例も値上げをするということだと思いますが、10円から30円の値上げということなんですけれども、この県条例の値上げの根拠といたしますか、それは確認をされていますか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 趣旨であるとか、そういったことの確認はできておりませんので分かりません。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 分からないんならしょうがないです。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 質疑等がないようでございますので、以上で質疑は終了いたします。

続きまして、議第70号赤磐市水道条例の一部を改正する条例を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がございましたらお願いいたします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） それでは、上下水道課より補足説明をさせていただきます。

議第70号赤磐市水道条例の一部を改正する条例につきまして、議案書は139ページ、新旧対照表につきましては20ページをお願いいたします。

この条例改正につきましては、国土交通省より令和7年4月22日付で通達がございました、災害その他非常の場合における給水装置工事の施行についての通達でございます。

内容につきましては、災害その他非常の場合にあつて、地元の給水装置工事業者の確保が困難となると判断される場合におきまして、宅内配管の早期復旧、給水装置工事の適正な実施を図るため、ほかの水道事業者が指定した給水装置工事事業者による給水工事の実施を可能にするため、指定給水装置工事事業者制度を導入しております本市におきましても、水道条例の一部を改正する必要があることから、新旧対照表のように、ただし書以下を加えて一部条例改正

するものでございます。

以上で上下水道課からの補足説明を終わらせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 指定水道業者というのが赤磐市にありますよね。今の説明じゃった
ら、今までは指定業者の人が市内のこと、工事なんかは全部やるようになっていきますよね、普
通の場合。災害の場合は、これ、仮に岡山市の水道事業者が、こっちの水道事業者が頼んでき
たらそういう人が工事に来れるということですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 言われるとおり、現在は赤磐市の指定工事店のみが宅内の給
水工事を行うようにしていますが、大規模災害とかが起きまして、赤磐市内の業者では手が足
りないときは、岡山市、倉敷市などで指定を受けている業者に応援を頼めるようになるという
条例改正でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） ということは、倉敷市なり、岡山市なりの指定を持っておられる方、
そういう、水道工事ができるからといって指定を持っていないような人じゃ駄目ということ
ですよね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） おっしゃるとおりで、他市町村の指定を持っている業者とい
うことになります。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 今の質問の説明の中で、その他非常の場合ということで、今、地元の業者を確保することが不可能な場合というふうにあったと思うんですが、これ以外の非常の場合というのはないんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 主には大規模災害を想定しておりますが、大規模な災害以外でも断水とかが起きた場合、地元業者で手が足りない場合とかという場合も一応想定しての、その他非常の場合という解釈になっております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 他に質疑はないようでございますので、以上で質疑を終了といたします。

それでは、採決に移りたいと思います。

ただいまから本委員会に付託されました議第65号赤磐市手数料条例の一部を改正する条例及び議第70号赤磐市水道条例の一部を改正する条例の2件について採決いたします。

まず、議第65号赤磐市手数料条例の一部を改正する条例について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 起立全員であります。したがいまして、議第65号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第70号赤磐市水道条例の一部を改正する条例について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 起立全員であります。したがいまして、議第70号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

次に、閉会中の継続調査及び審査について、御確認をお願いいたします。

配付しておりますとおり、議長に対し、閉会中の継続調査及び審査の申出をしたいと思いま

すが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、このように申出をいたします。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りいたします。

閉会中の審査及び調査案件のため、委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

続きまして、令和7年度事業の補正について、産業振興部、建設事業部から説明していただいた後に質疑を行いたいと思います。

資料は、本会議のフォルダー、議案説明資料の中の補正予算説明資料を使用いたしますので、よろしくお願ひいたします。

説明及び質疑の際は、資料のページ番号を言ってから行うようお願いいたします。また、予算常任委員会では所管委員会の部分は質疑ができないことになっておりますので、この委員会で聞いていただきますようお願いいたします。

それでは、執行部より説明をお願いいたします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、令和7年度事業の補正について御説明いたします。

予算書は253ページから、補正予算説明資料は61ページからになります。

令和7年度赤磐市財産区特別会計補正予算（第1号）につきまして、補足説明はございません。

以上でございます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） それでは、令和7年度事業の補正について、商工観光課から説明をさせていただきます。

補正予算説明資料18ページ、19ページをお願いいたします。

7款1項3目観光費で、以前から当委員会で説明をさせていただきました、新イベントに係

る実行委員会に対する補助を計上するものでございます。

なお、歳入につきましては、9月11日付で国から交付の決定をいただいております。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から補足説明をさせていただきます。

補正予算説明資料18ページをお願いいたします。

8款1項1目土木総務費で、赤坂支所産業建設課におきまして会計年度任用職員を増員するため、報酬など134万円の増額をしております。

続きまして、8款2項3目道路新設改良費で、市道岩田長尾線改良工事に係る工事請負費としまして4,973万4,000円の増額をしております。

続きまして、赤磐市宅地等開発事業特別会計（第1号）につきまして、予算説明資料は58ページをお願いいたします。

4款1項1目予備費におきまして、前年度繰越金が確定したことによりまして75万4,000円の減額をしております。

以上で建設課の補足説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について、まず産業振興部関係の質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 商工観光課の新イベントについてなんですけど、今回、3月に行くということで、私の記憶が間違っていなければ、これは試験的な感じでやって、先々、夏に行くイベントの参考にするために実行するという認識だったんですけど、全然時期が違うわけじゃないですか。そこで参考になるのかなと疑問なんですけど、そこら辺についてどうお考えでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） 現在、計画しているイベントでございますが、市民の方の参加によって盛り上げていくイベントというふうに想定しております。それによって、今後継続していくイベントになればと思っていますので、多くの方の参加を期待しているイベントになる、最初の礎となってもらえればと思っています。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 試験的についていうところの認識が合っているのかと、季節が違うところに関してはどうお考えかという質問だったんですが、いかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） 確かに、試験的な要素もございます。これまでになかった時期のイベントでございましたので、閑散期の時期のイベントでどれだけ人が集まれるか、どれだけ皆さんが楽しんでもらえるイベントかということも、今後の試金石になると思っております。来年度以降につきましても実施の予定ではありますので、今回のイベントをした上で検証を行い、実施の方法、時期等は今後の検討課題になっていくと思います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、産業振興部はこれで質疑を終了して、建設事業部に移りたいと思います。

建設事業部関係の質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で質疑を終了したいと思います。

これで令和7年度事業の補正については終わりたいと思います。

続きまして、その他について、産業振興部、建設事業部の順に続けて説明をお願いいたします。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） それでは、その他について、商工観光課から説明させていただきます。

産業建設常任委員会資料の2ページをお願いいたします。

熊山英国庭園イベント及び開園25周年事業についてでございます。

10月25日にはオータムフェスタ、12月20日にはクリスマスコンサート、12月中旬から下旬にはイルミネーションを予定しております。また、包括連携や地域企業との連携によるイベントとして、10月25日には株式会社熊山L I X I L製作所による光る泥だんご作りなど子供向け教

室、11月29日は岡山シーガルズの体験教室、12月20日にはマクドナルドを運営する株式会社クルーズによる安全教室、3月には大塚製薬株式会社による熱中症予防教室を予定しております。さらに、地域協賛事業者による期間限定メニュー等の企画も実施いたします。

3ページ、4ページにチラシを添付しておりますので、御確認をお願いいたします。

以上で商工観光課からの説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いて、お願いします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 上下水道課より、3、その他につきまして説明をさせていただきます。

委員会資料の5ページをお願いいたします。

(2)公用車の事故報告について報告をさせていただきます。

発生日時につきましては令和7年8月27日水曜日15時頃、場所につきましては赤磐市下市地内、相手方につきましては赤磐市の中学生となっております。事故の状況につきましては、横断歩道上におきまして職員が運転していた公用車と相手方が運転していた自転車が接触をいたしました。双方にけがはありませんでしたが、公用車、相手方の自転車へ損傷を与えております。現在、示談交渉中でございます。今後につきましては、職員に安全運転の徹底をしております。大変申し訳ございませんでした。

以上で説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

ただいまの説明について、まず産業振興部関係の質疑はございませんか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 熊山英国庭園のイベントということで、あとこのチラシですか、すごい盛り上げていこうということで、地域の方々も含め、頑張っていたらと思うんですけども、この間の決算審査特別委員会でも指摘させていただいたんですが、ここの施設維持管理費が令和6年度だと熊山英国庭園関連だと1,800万円、またついでに言うと、あと吉井の是里ワイン記念館とか、その辺も1,200万円ほど年間かかっているということで、こんなことを言うのも心苦しいんですけど、これだけの費用をかけての効果を、盛り上がりはまだ感じられないなっていうところが正直あるんですが、これだけ費用がかかるっていうところのざっと内訳というか、どういうところにこんだけ費用がかかっているのかをまず教えてもらえますでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○熊山支所産業建設課長（砂子武久君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 砂子熊山支所産業建設課長。

○熊山支所産業建設課長（砂子武久君） 経費の内訳ですが、詳しい資料は現在持っておりません。ざっとで説明させていただきます。

人件費が600万円程度、それから庭園管理に、これシルバーに委託しているんですけど、それが300万円程度、それからバラの剪定がこれもシルバーで200万円程度が主な経費になります。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 横山委員、よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） それで、こうやって盛り上げるための活動をしていただいているので、すぐにどうかとは言えないんですけど、ここで収入を求めるというよりは、観光事業って、これをやることによって地元の商業が盛り上がるとか、地元の人が喜んでここに来るとか、数字にならない効果かもしれないんですけど、そういうところになるかと思うんですが、イメージとしては、お隣、和気町の藤公園の、このバラだって時期限定のものなので似たようなものだと思うんですけど、あのぐらいの盛り上がりがないと効果が出ているとは思えないなというところがあるので、そこを目指してもらいたいなと思います。

それと関連して、さっき吉井の是里ワイン記念館、ここが同じような状況かと思うんですが、その2点について、このままだとずっと尻つぼみというか、変わらないなっていうところがあるので、もし、例えば是里ワイン館も心苦しいんですけど、あまり効果が得られないようだったら、もうちょっとこの予算を減らして、逆にこの英国庭園に充ててもっと盛り上げるようなことをするとか、そういう見直しを図っていただけたらと思うんですけど、お考えについていかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大窄産業振興部長。

○産業振興部長（大窄暢毅君） 御提言ありがとうございます。

市内観光施設、多々あります。今、上げていただいた2施設以外にも幾らかあります。多大なる経費、予算、こういったところがかかっているというのは承知をしております。おっしゃるとおり、費用対効果、この辺を見ながら、また老朽化等も進んでおりますので、公共施設等管理計画、こういったところも見据えながら、将来にわたって適正に執行していきたいと思っております。PR、こういったところもどんどん、もっと努めていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で産業振興部の質疑は終了いたします。

それでは、次に建設事業部関係の質疑はございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） ここへ交通事故のことを書かれとんですけれど、議会のたびに毎回事故の報告があります。側溝とか、ああいうようなものに不備があって、相手側からこういう、どうのこうのということが多いんですけれども、事故に関しては、そういうことがないように徹底するという御意見はいつも聞くんですけれど、私が思うには、意識を変えていくのに、例えば事故ゼロ、違反ゼロ、そういう取組を何か部署の中で一月ぐらいつつ、1年ぐらいまとめて、赤磐市全体の事故がのうなりゃいいことですけえ、そういうふうな何か運動を取り組んでみてはどうかと思うんですけれど、どうでしょうか。これは建設事業部じゃというんじゃないに、赤磐市全体の公用車、個人の違反なんかもひっくるめて、部署で取り組んでみるというのはどうでしょうか。

○副市長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松副市長。

○副市長（是松 誠君） 貴重な御提言ありがとうございます。

職員には、日頃から交通安全は注意しておるところではございますが、こういう事故が発生しております。

御提言いただいたように、現在、チャレンジ200日などには職員が参加しております。それに限らず、今おっしゃっていただいたように、何か特別に、さらに交通安全の意識が徹底できるようなことを考えていきたいというふうに思います。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で建設事業部の関係の質疑は終了いたします。

その他でありますか。

○市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田市長。

○市長（前田正之君） それでは、私のほうから御報告をさせていただきたいと思います。

内容は、新拠点整備事業についての最近の進捗状況ということであります。

8月27日に開発許可が下りました。それを受けまして、私どものほうも動きをさせていただきました。

9月9日には、ナカシマホールディングス、ナカシマヘルスフォースのほうへ、これにつきましては私と議長、それから産業建設常任委員長と同行させていただきまして、開発許可が下りたことによりまして、会社のほうとしてどのように進出についてお思いかというようなことも伺いし、私どものほうも、ぜひとも進出のほうへお願いしたいという思いでお話を聞きに行かせていただきました。内容的には、会社のほうといたしましても、進出のスケジュール感、それを真剣に検討されている。その中で、あと建設費用であるとか、それから土地の購入費、そういったことを総合的に、前向きに検討しているというようなことでお話を伺っております。

また、同日9月9日であります、開発事業者の赤磐総合開発が赤磐市のほうへお越しになりました。開発許可が下りて初めてということで、御挨拶を兼ねてお越しいただき、いろいろなお話をさせていただきました。2社の前向きな会社につきましては、引き続き、最終的にまだ契約はできていないが、進出に向けての御検討をされているということで、調整をなされているということでお伺いしました。また、その中で赤磐総合開発の代表取締役を変更するよう、現在、手続を進めているということをお伺いいたしました。これにつきましては、レーサム福岡という会社の代表取締役のほうへ変更をかけているというようなことの御報告をいただきました。これにつきましては、また正式に変更がなされましたら、私どももレーサム福岡の代表取締役が赤磐総合開発に就任されたということで確認もしたいと思っておりますし、いろいろとお話をさせていただきたいというふうに思っております。

また、昨日9月17日であります、コストコのほうから赤磐市のほうに出向いていただき、現在の状況についてお話を聞かせていただくことができました。コストコにつきましても、これは本国のほうでの最終的な決裁が必要だということで、従前のレベルとは変わっていないということで、赤磐市についてもいい場所だということで、検討を続けていらっしゃるということであります、お伺いしたお話の中では、気になるところが最近の物価高騰ということで、建築費用が上がっていること。それから、同様に土地の購入費、そういったこと。それから、赤磐市にも奨励金のようなものがいただきたいというお話もいただきました。そういったものをパッケージ的に考えての進出の決裁になるであろうということで、お話を伺っております。

最近の状況はそういうことでございまして、ここではもうはっきりと開発事業者が決定いたしました。私といたしましても、新拠点整備事業、これからは、西の部分につきましては民間エリアということで、事業者が決定いたしましたので、赤磐市としっかり調整を取りながら、特に赤磐市の住民の方々に迷惑がかからないよう、周辺の住民、地区の方々、それから工事関係車両のいろんな配慮、そういったことを十分に行っていただきたいということを申入れさせ

ていただいております。また、開発事業者として、これからの大きな流れにつきましては、市のほうにしっかりと連絡をいただき、私といたしましても、議会のほうへは進捗を定期的に御報告させていただきながら、見届けていきたいというふうに思っております。

この新拠点整備事業、大きく約28ヘクタールありますが、この事業につきましては、私も、赤磐市も職員一同、力を込めて推進していきたいと思っております。その中でいろいろと、従前、市民の方や議会のほうにも十分な説明ができずに、いろんな疑義も生じているところもあります。私といたしましては、そうしたところをすっきりと明快にさせていただきながら、力を込めてこの事業を進めていきたいというふうに思っておりますので、今後、小まめな連絡調整を図らせていただきたいと思います。

以上、新拠点整備事業につきまして、近々の進捗状況を報告させていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、私のほうから一つ皆さんにお諮りをしたいと思います。

さきの産業建設常任委員会で開示請求をいたしました。その開示請求をした書類について、2回に分けて皆さんに資料を読み解いていただきました。そして、その感想、開示していただいた中での内容、それから今までの市議会で議論された内容との比較、そういうところからどのようにお考えになったか。これで、中の内容については秘密会でやったことですから触れることはできませんが、総じて開示文書を読んだことについて皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。

そして、その意見につきましては、議長のほうに委員会でもとめてはこういうことであったということを報告したいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

まず、横山委員からお願いをしたいと思います。

横山委員。

○委員（横山裕太君） そちらの資料を私も拝見させていただいたんですけども、黒塗りの部分が多かったり、あと結構な打合せ回数を土地開発会社と行っているんですが、その全貌は見えなかったり、一番肝腎の最初、なぜそこがこの案件に関わってきたのかというところは全然、その最初の部分がなくて分からなかったというところがありますので、私も新人議員として途中からこの案件に関わったんですけど、この件、しっかり議員として把握したいなと思っておりますので、もうちょっと詳細に調べられるようなことをぜひこの委員会で議会としてやってほしいなと思っております。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして、佐藤武委員、お願いいたします。

○委員（佐藤 武君） 開示資料を出されて、秘密会で協議したということですが、まず、私も委員会の中で申し上げました、公文書ではないという、単なるメモだというようなことで、議長、委員長の見解だったんですけども、執行部につきましては、公文書という位置づけか

など私は思うんですが、そこら辺をどう考えているかなということが、まず疑問な部分があるんですけれども。と同時に、その情報を読ませていただく中で、何が問題なのか。黒塗りの部分がありますけれども、企業とお話をする中で、特に何を明快にすべきなのか、問題点がどこにあるのか、何を調べようとするのかが私は分からない。企業進出に当たって、事業者と数多くの接触をするのは当然のことであると私は思っておりますし、度々申し上げますけれども、違法性があるとか、例えば、悪い表現ですけれども、水面下で何かの動きがあったというような部分が明快にあれば、それは調査をする必要があると思いますけれども、あの資料だけで何を解明しようとするのか、私は分からないということで、その調査をする必要はないと私は思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いて、保田委員、お願いします。

○委員（保田 守君） 私は、現市長じゃなしに、進めてきた前市長のときから、事業自体は進めてほしいという立場で言ってきた。だけど、私もあの資料を見ただけじゃ分からない部分というんですか、私は一番、事業者と市長との、誰がどうしてこの事業をやるように、前市長は私が単独でやってみたいなことを言うと思ったんですけど、そうじゃないように確実に感じたんで、この間の資料を読ませてもらったら、そういう部分の話は載っていません。

だから、私がずっとこれから、この町のために進めてほしいと思っているんですけど、今後、今の市長は明快に闇の部分があったということを知つくとられるから、そういうことが絶対ないように進めていきたいという、さっきの決意じゃったと思う。じゃから、何か、私もすっきりした形でいきたい。何らかの形で不明な部分が明確にできるんならしてほしい、そういうふうに思っています。

○委員長（金谷文則君） 分かりました。

続きまして、行本副委員長、お願いします。

○副委員長（行本大輔君） まず、私の最も大事な考え方として、市政、また議会は市民の皆さんに対してホワイトでなくてはいけない。そこが一番重要だというふうに考えております。前回、開示請求させていただいた書類を読ませていただきましたが、横山委員もおっしゃっていましたが、黒塗りの部分等が非常に多く見受けられたり、全体的に民間と民間の話であるにもかかわらず、異常なまでの市長と民間の開発業者との面会の回数、これは異常だなというふうに思いました。そして、また令和2年から面会が始まっていたと思うんですが、資料が令和5年ぐらいのものからしかなかったものですから、令和2年から令和4年の部分に関しての情報がまるっきり抜けているんです。市民の皆さんも、そこの部分を一番疑問に思われていると思いますし、私どもによく聞かれることが多いんですけど、実際、私も議員として市民の皆さんに確かなことを言えない。これは非常に問題だと捉えております。

です。議会議会としても、市民の皆さんにしっかりと説明責任を果たすためにも、百条委員会等の特別委員会の設置が必要なのではないかなというふうに考えております。しかし、先ほど市長が言われましたように、8月27日に新拠点エリアの一部に関しましては、現在、開発許可が下りたということでございますので、その場所につきましては、工事の安全を願って、そしてまた議会議会としても全面協力していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、佐藤武文委員、お願いいたします。

○委員（佐藤武文君） 現在、私は議長という立場の中で、今まで議員として取り組んできた内容、そして議長という立場の中で判断しなければならないという、私としては大変重苦しい気持ちでいっぱいでございます。

そういうことの中で、先般、私、議長から執行部に対して開示請求を行わせていただきまして、その事業の内容が一部明らかになってまいりました。しかしながら、先ほどいろいろ同僚委員からもお話があったように、内容についてはなかなか解明することができなかったというようなことの中で、新拠点整備計画の経過について、先ほど副委員長からもお話がありましたように、調査、究明が赤磐市議会のほうに市民の皆様方から求められておるということは、これは事実でございます。

そして、私、個人の見解で申し上げさせていただきたいわけでございますけど、新拠点整備計画はなぜ民民での事業で開始をされたのか。ゆえに、議会の意見を反映することがこれ、できなかったわけなんです。民民の事業であるからということの中で、議会の意見を求めることが全くなかったということで、我々議会の意見を反映することができなかった。なぜそういうことになったのかということが、私には、当時、議員としての立場の中では理解ができませんでした。

また、特定の業者が事業運営にどのような理由で参入することになったのか。このことについても、前市長のほうから議会のほうに、私は説明を受けた記憶がございません。そういうことの中で、なぜ特定の業者が参入をされたのかということが私には、開示請求をして読ませていただいた中では、全くそのことについて理解できなかったというようなことで、新拠点整備計画の事業が公平性を持って進められていたのかということが赤磐市議会に私は求められているというふうに思っております。

それから、個人的なことで大変申し訳ないんですけど、私、地元議員がその計画に反対をしておるといようなことを地元の区長から随分流され、批判を受けております。何を根拠に私は発言をされたのか、このことについては調査をしていただきたいというふうに思っております。私は現在、議長という立場でございますので、議員の皆様方の判断に従わせていただきたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

皆さんの御意見をお伺いいたしまして、総じてもう少ししっかり究明すべきであろうと。どうしてスタートしてどういう経緯であったのか、そういうことをしっかり検証しなきゃいけないという意見が大多数であったように思います。それができる百条委員会のようなものが必要であろうという御意見もございました。

それから、もう一つ大切なことは、先ほど副委員長からもありましたが、8月27日に下りた都市開発の許可、これは大きなことでございます。赤磐市にとっても大変重要なことですので、そこで民間業者が企業を誘致してそこを活性化していくということになっているようでございますので、それについては、市としてできること、議会としてできることを、それは一生懸命やるべきであろうというふうに委員長としても考えております。執行部のほうも、今まで進めてきた中で、それが正しかったのかどうなのか、どうだったのかっていうことも検証をお願いしたい。議会としてもやっていくべきであろうというふうに思います。そのことにつきましては、今日の皆さんの御意見を集約して、ここに議長はおられますけど、委員会でこういうことがあったということを議長のほうに報告をしていきたいと思っております。

そういうことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

その他について、何かございますか。

佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 先ほどの市長の報告がありました新拠点の動きというか、この点についての質問はオーケーなんですか。

○委員長（金谷文則君） 報告できる範囲で、答えられる範囲があればお答えをいただきたいと思いますが、市長、よろしいでしょうか。

○市長（前田正之君） はい。

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、どうぞ、お願いします。

○委員（佐藤 武君） まず、ベストコーポレーションから赤磐総合開発のほうへ、今後の土地の取扱いについては赤磐総合開発がするのかなと思ったんですが、その代表が替わったという理由は把握されているのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 代表者が替わった理由については、詳しくはお聞きしておりません。ただ、赤磐総合開発の池田氏、前代表から聞いた話ということで

お伝えをさせていただきますけれども、従前、開発……。

○委員長（金谷文則君） ちょっと口を挟んで悪いんですけど、今、我々の会議の中でよく出ていたのが、ベストコーポレーションというお名前と赤磐総合開発というのが今出てきて、さっき市長の話ではレーサム福岡というのが出てきました。これを関係も含めて説明をしていただかないと、何で途中からそんな話になるのか分からないので、そこも簡単をお願いします。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 開発許可の申請をされて、このたび許可を受けられたのが赤磐総合開発という会社でございます。この会社については、従前、この委員会等でも御説明をさせていただいておりましたベストコーポレーションと、それから株式会社レーサム福岡という会社の2社の共同出資によりまして、この赤磐総合開発という会社が出ております。ここが申請手続、許可を受けられたということでございますが、この中で、今後、事業を進めていかれるに当たって、池田氏からレーサム福岡の天野孝一氏という代表取締役でございますが、この方に代表が替わるんだということでお伺いしております。池田氏につきましては、伝聞ということで御報告をさせていただきますけれども、今後、この赤磐総合開発の代表取締役ではなく、取締役役員という形で会社に残って、これまで同様、地元調整等の業務に当たるということでお伺いしております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） ありがとうございます。

それで、企業であるとか、地権者である民民の協議ということですが、産業振興ゾーンとか、大型商業施設の出店を予定している土地については現在どういう状況なのか、教えてください。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 全筆を確認したわけではございませんが、一部、登記簿等で確認をさせていただいております。この中では、開発許可を受けられた赤磐総合開発に所有権が移転をされております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） ほぼ全筆という理解でよろしいですね。

それで、今、市長のほうから土地、コストコの出店に当たって、資材高騰であるとか、土地価格が高騰というようなお話がちょっとあったと思うんですけども、土地単価というのは最初鑑定評価を受けた土地代ということで、それから、大きく上昇するというような懸念はあるん

ですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 市がやっております鑑定は、公共ゾーンの用地を購入するための鑑定評価でございますので、民間エリアの鑑定評価がいかなるものであったかというのは、申し訳ありません、承知をしておりません。

今、赤磐総合開発は、個々の農家であったり、そういう地権者から土地を買われたということであろうと思いますけれども、これから造成をされた後に、今、2社の名前が上がっておりますが、例えばそういった業者に対して造成後の土地として売るということでございますので、民民の話ですから分かりませんが、当然、もともとの土地の値段に対して、造成費用を足し込んだ形で販売されるのではないかというふうには想像をしております。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 造成後の土地売買ということに進んでいくんだらうと思いますけれども、まずいろんな地権者の方が所有されているという状況の中で、場所によって単価が違う。例えば、コストコが出店をするという状況、ナカシマヘルスフォースが出店するという事になったときに、場所によって単価が変わる可能性もあるということですね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） これは、申し訳ありません、民民での取引の話ですので、私どもはそこまでの情報は得ておりません。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

保田委員。

○委員（保田 守君） 赤磐市がせにやおえん遺跡の関係の調査というのは、コストコの部分やこっち側の山際の今の道のそばの辺、もう全部完了したんですか、うちがお金出してやる部分は。それとも、開発する業者があっちはお金を出してせにやおえんところになるんか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 市道岩田長尾線から西の、民間が今回開発許可を受けられたエリアの中で言いますと、現在、私どもの所管ではありませんが、教育委員会のほうで道路部分に係る埋蔵文化財の発掘調査業務を発注しているところです。これが年度末までの調査期間ということで聞いております、当座、こちら、市のほうの関係でいいですと、それが執行されるということになります。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） いいです。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 当然、民間が造成するであろうところに赤磐市としても市道路線、市道を造成、造りますよね。この造成費というの、当然、レーサム福岡といいますか、そちらの言われる単価で購入ということになるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 詳細には、これから先方も正式に許可を受けられまして、先ほど市長も御報告をさせていただいたとおり、具体的な金額についてはこれから交渉といいますか、調整ということになるかと思えます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） それでは、以上でよろしいですね。

市長の報告につきましては以上で終わります。

その他のその他で何かございましたらどうぞ。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 先日の決算審査特別委員会のときに、住宅使用料5,000万円の未回収があるというところで、これかなり大きな問題だなと認識してしまっていて、財源がないっていうことを結構よく言われる中で、これは大きな問題だなと思っています。

というところで、その回収状況、特に住んでいる方のところは継続的にやっていただいているからいいと思うんですけど、住まれてないところが3,500万円、結構大きな部分を占めているというところで、ここに関しても、本当にいなくなってしまうのかとか、そこで同僚委員からもあったとおり、どんどん消し込んでいって、ずっとそれが残っているのはよろし

くないなと思いますので、もうそこをぜひ注力していただくという意味でも、申し訳ないんですけど、この委員会の中でその状況を報告していただくとか、いつまでにどこまでは消し込みをするとか、目標を設定していただいてこの場で報告してもらおうとか、そういうふうにもしないと状況がどんどん変わっていかないのかなと思うんですが、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 退去されている方の3,500万円というのは、大きな額になっております。ただ、退去されているということで、今、委員おっしゃられたように、どこにいるのかも今分からない状況、生きているのか、亡くなられているのかも分からない状況ということでありますので、それをまず調べないといけません。住民票なり、戸籍なりを追跡で調査をしていって、相続人であるとか、そういった方がいらっしゃれば、そういうことも含めて調査をさせていただいて、あと債権の回収のほうに努めていくというのが本来の姿ではあると思うんですけども、最終的には、調査の事務量というか、そういうのがかなり膨大になりますので、今の人員の中ではそういうところまでは手が回っていないというのが現状でございます。

その事務にかかる時間を、今は、現在住まれている方の債権の回収に使っているという状況でございますので、今のところ、出ていった方への調査っていうのができていない状況ではございますが、そうはいっても、そういうことにも手をかけていかないといけないということにはなろうかと思っておりますので、少しずつではありますが、戸籍の調査であるとか、追跡の調査をさせていただいて、意向のほうを確認するよう頑張っていきたいと考えております。

目標っていいますとなかなか設定できないんですけど、時間、人員をなるべく割いての体制をつくって、取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） ありがとうございます。

割に合う、合わないというところもあるので、全部が全部やれとは言えないなど、今のお話を聞いては思ったんですけども、話は変わるんですけど、市営住宅維持管理っていうのもあると思うんですが、そこにも1,200万円ぐらいかかっている、いない人のところを省いたら、何軒か市営住宅がある中で、そこはもう全部いないからなくしちゃって市営住宅維持管理費を削減するとか、そういうことにもつながるかと思うんですけど、調査することによって維持管理費を減らすっていうことはできるものなんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 今住まれていない住宅に関して言いますと、一戸建ての住宅ではなくて集合住宅なので、例えば4戸で1棟であるとか、そういった住宅がほとんどでございます。全て空いた棟に関しては解体を進めていって、具体的にはまだその後の利用とかもあるんですけど、そこまではまだ手がつけない状況ですけど、棟が全て空いたところに関しては解体を進めております。ですので、住まれていない空き家の住宅に関して、維持管理費は発生していない状況でございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） 既にそういうことはやられているということで、分かりました。ありがとうございます。

何にせよ、この問題を解決するためには、定期的に何か、件数だったり、額だったり、何か報告してもらうようにしたほうが、お手間をかけて申し訳ないんですけど、一つ促進になるのかなと思うんですけど、改めていかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員会のほうで報告できる内容につきましては、定期的に報告をさせていただくようにさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 私、前回の委員会をお願いしとったんですけど、市長のほうで本会議でも答弁されたんですけど、公共ゾーンの都市計画変更ということで、業者名がもうはっきりしていると思うんですが、大黒天物産が再度出店の依頼をされに来たというような話がありましたよね。その中で、いつ市長のところへ大黒天物産が再度出店の協議といたしますか、依頼に来られたのか、そのときに議会のどなたかがおられたのか、そこら辺は教えていただけますかということをお願いしとったんですが、その場で都市計画の変更の、当然、その依頼だと思ってしまうんですけども、出店をしたいという再度の依頼ということだと思ってしまうんですけども、そのときは議長とか、委員長とかはおられたんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

前田市長。

○市長（前田正之君） 私のところへ就任以後、大黒天物産が来られた状況のお話ですね。

そのときは、金谷委員長は同席をいただいております。それから、職員のほうも、関係職員が同席しております。それから、内容についてですが、これにつきましては出店の意向、そういったこともお気持ちの中にはあると私は捉えておりますが、今まであそこのことについて、前友實市長との話の中で、いろんなことが市のほうではクリアになっているというような形で進められているようだが、それには、実際にはいろんなことのそごがあるというような内容のお話を聞いております。そのことを踏まえて私は、解決しながら公共ゾーンのところにつきましては、土地の購入であるとか、これからの整備というものを進める必要があるというふうに思っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） まず、私の考えですけれども、再出店の見直しといいますか、当然、都市計画の変更をしなければ、道の駅としての都市計画決定がなされていたと思うんですけれども、それをあえて市長が、本会議でも答弁があったと思うんですが、合併特例債が間に合わないという状況が発生した場合は、単独市費を支払ってでも出店については考えざるを得ないというような趣旨の発言をされたと思うんですが、一企業に対してそこまで付度をされるという部分が理解できないなと思ったんですけれども、併せて産業建設常任委員長がそういう都市計画の変更が必要な部分での出店、再出店をお願いする場所に同席するというのが、私はいかなものかなというふうに思うんですけれども、そこまで市長が合併特例債を使わなくても単独市費で対応するという都市計画の変更、これをするお考えというのはどこら辺にあるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田市長。

○市長（前田正之君） 佐藤武委員の御質問をお伺いしますと、私とは認識がかなりお違いになるかなというふうに思っております。

私は都市計画の変更をかけようという気持ちは一切思っておりません。今の都市計画が決定された内容に基づいて、民間ゾーン、公共ゾーン、ほかのゾーンもありますが、立地適正化計画、地区計画の設定、そういったものに決まっている状況で、これから開発が進んでいけばいいと思っております。

なお、今、お話をされている公共ゾーンのところにつきましては、合併特例債の予算を歳入として見込んでの議決をいただいておりますので、それにつきましては、しっかりと努力をして、そういった有利な状態での土地購入を進めていきたいと思っております。

なお、私の発言の中で、どういうふうにとらわれとるんか分かりませんが、市費でも土地を買っていくという私の、決定的な発言というのは、私はした覚えはないんです。そういった場合は、当然、そういう状態に変わるんであるならば、予算をいただくためには、そういう状況も踏まえて、議会に御相談をかけながらじゃないとそれはできないと思っておりますので、現在は、財源として、3月31日までに土地の購入をするために、合併特例債を充てた状態で事業を進めておりますので、それに向かって努力をしていきたい。

それから、私としては、前市長とのやり取りのお話を大黒天物産からお聞きしておりますが、これは両者にそごがあったというふうな認識になっているわけですが、市長として一つ一つのお話を関係者とするというのは重たいものがあると思っておりますので、そういったことが残っているということは、しっかりと解決をしてでないと、そういった話を適当な状態で進めていくということは私はできないと思って、真剣にこの整理をしたいという思いであります。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 先ほど佐藤武委員が、大黒天物産が来られたときに所管の委員長がいることはおかしいというような発言がございましたが、それは全く失礼な言い方だと思います。特に、大黒天物産の場合は、前の市長とのそご、それから都市計画審議会のときに意見書を出された、そのことについての説明があったから私も立会いをして聞いただけのことでありまして、変な勘ぐりのようなしゃべり方をしていただきたくない。それはしっかり注意しておきます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 委員長の考えは聞かせていただきました。

そうした中で、最終確認をさせてください。都市計画の変更といたしますか、都市計画決定は、公共ゾーンは道の駅としてもう既に決定済みだと私は理解しているんですが、その都市計画の変更といたしますか、道の駅の変更というのは可能なんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 昨年12月20日に県のほうの決定をいただきました都市計画の変更でございます。この中の公共ゾーンでございますが、都市公園、都市施設としての決定でございます。市としましては、道の駅を含む新拠点の中核をなす、にぎわいを生むエリアとしての活用ということで、その代表的な事例として、道の駅という構想を立てて、これまで計画を練ってきております。都市計画の決定の中で、道の駅でなくてはならないということではございませんので、これは市のほうでそういった構想を立てているという、

そういうことで御理解いただけたらと思います。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 都市公園としての位置づけとなると、その都市公園の中に量販店、小売業者が入るということは可能なんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） この都市計画決定の申請をするに当たりまして、先ほど市長も説明をさせていただきましたけれども、立地適正化計画というのを市のほうで定めております。この立地適正化計画の考え方、基本的な市の方針といいますか、この中では、今回、この約28ヘクタールを市街化区域に編入するに当たっては、市内にある既存の充足をしているもの、これをここに設置、整備をするための市街化区域の拡大ということは、これは国も県もそういったことでは方針になじまないということでございますので、先ほどの御質問でございますけれども、このエリアにそのようなスーパーを立地するという事は、市の方針にそぐわないということで御理解いただけたらと思います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） その他についてはもうないようでございますので、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会といたしますが、閉会の後に、前回の委員会の際に皆さんにお願いをしておりました11月の視察についての質問事項について協議をしたいと思います。

それでは、閉会に当たりまして、是松副市長より御挨拶をお願いいたします。

○副市長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松副市長。

○副市長（是松 誠君） 本日は御多用の中、事業の内容につきまして活発な御意見、御議論、審査ありがとうございました。今後につきましても、迅速な事業の進捗に努めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○委員長（金谷文則君） それでは、これにて本日の委員会を閉会といたします。

午前11時15分 閉会